

# 情報連絡員総括表（2024年12月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値  $\pm 0.0$  (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 58 名：回収率 96.7%）

○2024年12月のDI値（全体）は、前月との比較において、「取引条件」「収益状況」「雇用人員」の3指標が改善し、その他6指標が悪化した。「収益状況」は、製造業・非製造業のいずれも改善し、6.9ポイントの改善が見られたが、依然としてDI値がマイナス27.6ポイントを記録しており厳しい状況に置かれている。

○「製造業」では、前月との比較において「取引条件」「収益状況」の2指標が改善され、「在庫数量」が横ばい、その他6指標が悪化した。「業界の景況」は、令和6年度の集計で一番低いマイナス36.6ポイントを記録している。「織物業」では、受注は堅調に推移しているものの、機屋の減少や高齢化の進行といった構造的な問題解決ができず、受注を逸失してしまう状況が続いている。

○「非製造業」では、前月との比較において「取引条件」「収益状況」「雇用人員」「業界の景況」の4指標が改善され、その他3指標が悪化した。「収益状況」は、令和6年9月ぶりに改善傾向を示したが、令和6年度の集計において一度もプラスのDI値を記録することがないことから厳しい状況に置かれている。一方で、「雇用人員」は、14.3ポイント改善し、プラスに転じた。「道路旅客運送」では、ドライバーの新規採用が増えたことで社会問題となっているタクシー不足の解消が進みつつある。しかし、繁忙期に入っても業績そのものは伸び悩んでいる状況に置かれている。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年12月	-12.1	-2.4	24.2	-6.9	-27.6	-15.5	-20.0	-3.5	-34.5
2024年11月	-1.8	-12.5	27.3	-12.7	-34.5	-12.7	-18.5	-7.2	-29.1
増減	-10.3 ↓	10.1 ↓	-3.1 ↓	5.8 ↑	6.9 ↑	-2.8 ↓	-1.5 ↓	3.7 ↑	-5.4 ↓

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減	
売上高	2024年12月	-20.0	-12.6	ポイント	↘	-3.5	-7.1	ポイント	↘	-12.1	-10.3	ポイント	↘
	2024年11月	-7.4				3.6				-1.8			
在庫数量	2024年12月	0.0	0.0	ポイント	-	-7.7	30.8	ポイント	↘	-2.4	10.1	ポイント	↘
	2024年11月	0.0				-38.5				-12.5			
販売価格	2024年12月	20.0	-2.2	ポイント	↘	28.6	-3.5	ポイント	↘	24.2	-3.1	ポイント	↘
	2024年11月	22.2				32.1				27.3			
取引条件	2024年12月	-6.7	8.1	ポイント	↑	-7.2	3.6	ポイント	↑	-6.9	5.8	ポイント	↑
	2024年11月	-14.8				-10.8				-12.7			
収益状況	2024年12月	-30.0	3.3	ポイント	↑	-25.0	10.8	ポイント	↑	-27.6	6.9	ポイント	↑
	2024年11月	-33.3				-35.8				-34.5			
資金繰り	2024年12月	-16.6	-5.5	ポイント	↘	-14.3	0.0	ポイント	-	-15.5	-2.8	ポイント	↘
	2024年11月	-11.1				-14.3				-12.7			
設備操業度	2024年12月	-20.0	-1.5	ポイント	↘					-20.0	-1.5	ポイント	↘
	2024年11月	-18.5								-18.5			
雇用人員	2024年12月	-10.0	-6.3	ポイント	↘	3.6	14.3	ポイント	↑	-3.5	3.7	ポイント	↑
	2024年11月	-3.7				-10.7				-7.2			
業界の景況	2024年12月	-36.6	-14.4	ポイント	↘	-32.1	3.7	ポイント	↑	-34.5	-5.4	ポイント	↘
	2024年11月	-22.2				-35.8				-29.1			

## 今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	1	1	1	1	2	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	1
	繊維工業	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1
	木材・木製品	1	2	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	2	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1
	印刷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	窯業・土石製品	1	0	2	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	鉄鋼・金属工業	1	1	1	1	1	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	1
	一般機器	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0
	輸送用機器	0	3	0	1	0	0	1	2	0	3	0	1	1	2	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	X					
	小売業	2	2	0	2	3	1	0	3	0	4	0	3						
	商店街	0	3	1	0	1	2	0	0	0	1	0	1						
	サービス業	3	1	X				3	0	1	1	1	2					1	0
	建設業	1	2					4	1	1	0	2	3					0	1
	運輸業	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1					1	0

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	・営業担当の努力による原料確保や売上高アップ、製造現場の工夫によるコストダウンや歩留まり向上など前向きな要因が重なり利益を計上する事が出来た。
織物	・原材料、生産コスト、物流コストは高止まり、更に生産工程の縮小による生産性の低下がみられ、今後は生産活動に支障が出る事が心配される。又、産地内では工場の生産体制などの違いにより、工場間の格差が鮮明になっている。 ・綿、絹織物ともに堅調に受注は有るが、機屋の減少に加え高齢化が進み生産が間に合わない。構造的問題を解決できない中、工賃単価、円安による糸値上昇が続く。
製材業・木製品	・物価や諸経費が値上がりする中、木材建築資材は値下げ傾向にある。組合員製材工場は昨年同期より稼働が1割程度下がったとみられる。
印刷	・月初は機械の稼働に空きが目立ったが、前月からの仕掛りの仕事が多く、売り上げは前年比で増加した。10月より刷版、インキの値上げがあり、原材料費が上昇したが価格転嫁が思うように進んでいない。来年早々に用紙値上げも言われており、クライアントへの価格転嫁のタイミングを検討している。既存のクライアントの印刷需要は低迷していると感じている。業界の景況には大きな不安がある。
電気機械器具	・白物家電の11月の業界統計では、国内出荷金額は高機能機種へのシフトなどにより2ヶ月連続のプラスとなった。冷蔵庫は2ヶ月ぶりのマイナス、エアコンは2ヶ月連続のプラスとなった。 ・12月の生産実績は、冷蔵庫が販売低迷に伴いマイナス、家庭用エアコンは立ち上がりの遅れによりマイナス、業務用エアコンは国内外ともに回復基調でプラスとなった。
輸送用機械器具	・米国新大統領の関税政策がどうなるのか、自動車関連企業は注視している。その一方でホンダによる日産統合についても下請け企業の再編が既に水面下で動き始めているようであり、今後の推移を見守っているところである。 ・自動車業界は昨年のD社不正発覚前で生産が多い状況であった。不正発覚後、生産は減少し前年比1割程度の減産となっている。

#### 非製造業

セメント卸	・12月の出荷は大型関連工事が一時的に寄与し、4カ月振りに前年実績を上回り今期最多の出荷量となった。令和7年4月からの袋セメント価格改定について、セメントメーカーより早期受諾回答要請があった。
野菜・果実小売	・天候不順の影響でキャベツ、レタス等を中心に全体的に価格が大きく上昇した。12月の主力商品となる蜜柑の値段も大きく上昇したため、全体としての仕入れ値の上昇が際立った。
燃料小売	・テレビや新聞等の報道では激変緩和の補助金の減少により、ガソリン価格の高騰ばかりが取り上げられているが、他の油種も補助金の減少により同様の値上げになっている。1月も同様のため、物流・製品製造等にどの程度影響が出てくるのかが心配である。
商店街	・元旦にお休みする店舗が増え、年末年始は昨年に比べ売上・客数とも微減であった。
宿泊	・クリスマスシーズンにおいては、例年と比較して曜日の並びが悪く集客に苦戦した。年末は、インフルエンザ等による体調不良を理由にしたキャンセルが相次いだ。 ・コロナ収束後は宿泊単価が上昇し全体的に売り上げは増加したが、各種エネルギーの値上がりや物価高による食材料費等の仕入れ価格高騰で、収益状況は前年並みとなった。
総合工事	・12月から2月頃までは、建設業界は忙しい時期で職人不足が続いている。又、労働条件が厳しい民間を主体としている小規模事業者から、従業員が他業種に転職する話も耳にする。
職別工事	・請負単価の上昇に伴い、受注条件は概ね上がり基調は続くが、物価高騰に伴う工事そのものの見直し、中止、延期、縮小などが散見され、発注状況が不安定な様子。大規模工事以外の地場産業企業発注の工事が特にその傾向が強く、取引状況の上昇と相殺されている。春先には動向が見えてくる模様。
道路貨物運送	・貨物運送業界の景況感はやや改善傾向にあったが、価格交渉の転嫁率が依然として低位に留まっている。令和6年4月から適用されたトラックドライバーの時間外労働上限規制が業界に影響を与え始めている。具体的には、労働時間規制や燃料価格高騰を背景に効率的な輸送体制の確立が喫緊の課題となっており、高速道路の利用が一層重要性を増している状況である。
道路旅客運送	・運送収入の対前年同月比はプラス4.2%とわずかに改善したものの、コロナ前との比較では10月よりも2.7%下がり回復傾向は鈍化している。昨年末に社会問題として取り上げられたタクシー不足の状況については、ドライバーの新規採用とともに改善されてきているが、繁忙期に入っても業績が伸びないとの声が聞かれる。

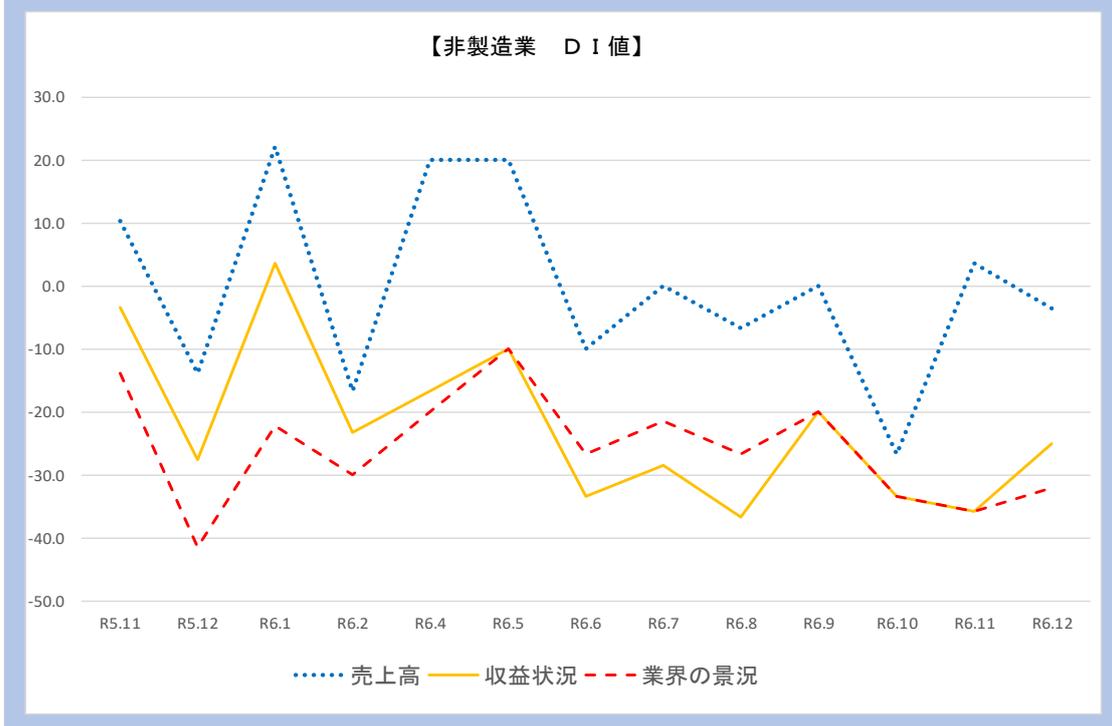
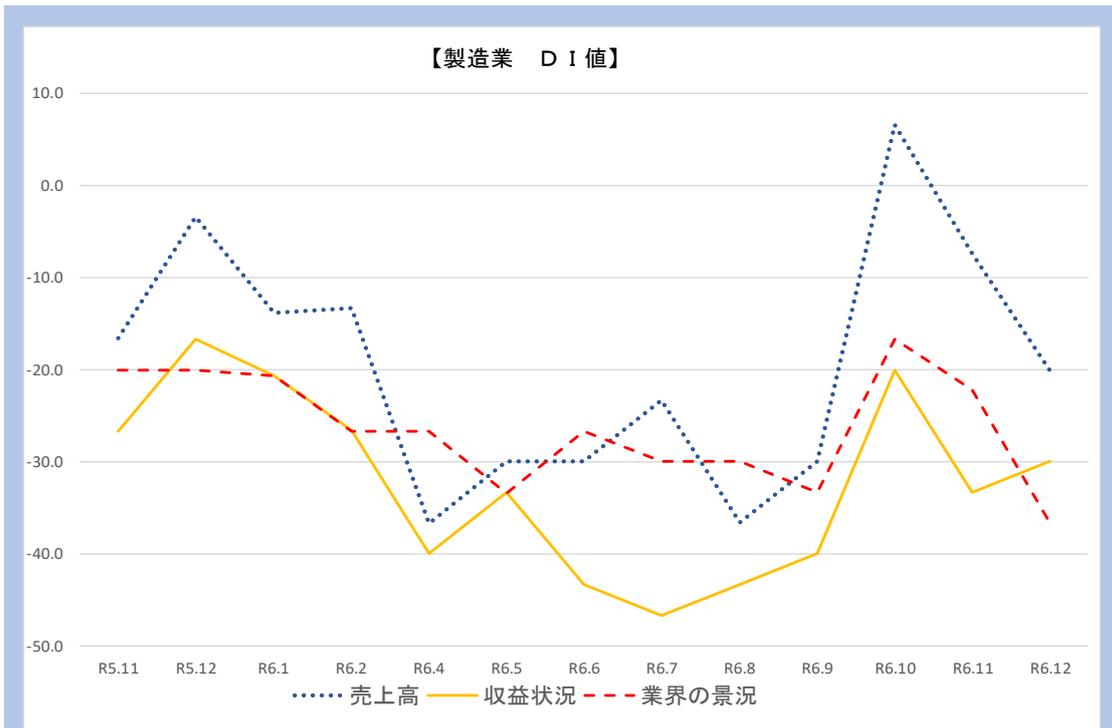
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■2023年12月期～2024年12月期までの推移

全体	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
売上高	-8.5	3.5	-15.0	-8.4	1.7	-5.0	-20.0	-12.1	-21.7	-15.0	-10.0	-1.8	-12.1
収益状況	-22.1	-9.0	-25.0	-28.3	-18.3	-21.6	-38.3	-38.0	-40.0	-30.0	-26.6	-34.5	-27.6
業界の景況	-30.5	-21.4	-28.3	-23.3	-28.4	-21.7	-26.6	-25.8	-28.3	-26.7	-25.0	-29.1	-34.5

製造業	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
売上高	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4	-20.0
収益状況	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3	-30.0
業界の景況	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2	-36.6

非製造業	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
売上高	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6	-3.5
収益状況	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8	-25.0
業界の景況	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8	-32.1



■2023年12月期～2024年12月期までの推移

売上高	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
製造業	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4	-20.0
非製造業	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6	-3.5

収益状況	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
製造業	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3	-30.0
非製造業	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8	-25.0

業界の景況	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12
製造業	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2	-36.6
非製造業	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8	-32.1

